

日本チーム支える真駒内の2隊員



W杯2戦開幕を前に旭川市で強化合宿を組んだ日本代表チーム。後列左端が沼田3曹＝円内写真⑤、同左から2人目は佐藤曹長＝同⑥

夢は平昌パルティでメダル表彰台

障害者スキー

障害者クロスカントリースキー日本チームのコーチとして、いずれも陸自真駒内駐屯地に置かれる11通信隊の佐藤勇治曹長(48)と、北部方面衛生隊の沼田貴美3曹(31)の2人が選手たちを支えている。2月13、18日に北海道旭川市で行われたW杯第2戦では、代表選手の上位入賞に貢献した。

佐藤曹長 ソチ五輪「銀」に貢献

日本障害者クロスカントリースキー協会(事務局・東京都江東区)のメンバーとして参加。ノルディック複合の渡部暁斗選手をサポートする2人のうち、佐藤曹長は山形県内の高校を卒業後の1985年3月、冬季戦技教育隊(真駒内)に入隊。選手、スタッフとして長くスキー競技に携わってきた。昨年のソチ冬季五輪では、日本チームのワックスマンとして参加。ノルディック複合の渡部暁斗選手(北野建設)の銀メダル獲得にも貢献した。経験・実績を買われ、荒井秀樹日本チーム監督に「ぜひ協力していただきたい」と依頼され昨年12月、コーチ兼ワックスマンとしてチームに加入。W杯の今季第2戦となる旭川大会では、5人の選手の健闘を後押しした。



国内での開催ということもあって選手たちは持てる力を発揮。「気温に適應する(レースの)先を見通したワックスを選んだ」といふ佐藤曹長らのサポートもかみ合い、阿部友里香選手

障害者クロスカントリースキー日本チーム 2014～15年の強化指定選手は6人、スタッフは10人。クロスカントリースキーとバイアスロン(14年)では、2競技に8選手が出場。バイアスロン男子7.5キロで久保恒造選手(白立ソリューションズ)が銅メダルを獲得した。

(日立ソリューションズ)がプリント・フリーで2位に入るなど、合わせて9個のメダルを獲得した。沼田3曹も日本チームの「後方支援」を務めた。沼田3曹は佐藤曹長に誘われ同じく昨年、バイアスロン10月から08年3月まで冬戦教特体課程の集合訓練に参加していた経験も生かし、選手たちを支えた。射撃(伏射)の際は周囲に「千歳」の掛け声をして、

陸・空准曹が交流会

千歳地区「横軸の強化」を図る

【千歳】千歳基地准曹会が幹事を務める「千歳地区准・曹交流会」が1月31日、ホテルグランテラス千歳で行われ、千歳市内の陸・空自部隊の准曹約270人が交流を深めた。東千歳、北千歳両駐屯地と千歳基地の隊員が参加、今村史空自連合准曹会副会長、木崎寛文陸自曹友連合会長、蛸名健海自余市防備隊先任伍長らを初招待した。5回目となる今回は「横軸の強化」をテーマに団結の強化を図った。杉本孝哉千歳基地准曹会会長のあいさつのもと、同会最高顧問の小川能道千歳

を和田さんが務めた。当初予定していた平泳ぎル×1000人リレーで

曹交流会 2015



端)に表彰される深瀬1曹(その右)日、ホテルグランテラス千歳で)

あき 8・6・47625